

読売新聞 11月24日掲載分 高垣真路の TeeBreak

不可解なルール

ラグビーではボールを前にパスすると、厳しくペナルティーとなりますが、今年のワールドカップで、頭で前に進ませるのはルール上問題無しという意外な判定で、日本がイングラントに負ける一因となりました。実はゴルフでも蒸し返さずにはいられないルールが、今年的女子日本最高峰の大会中に発覚しました。

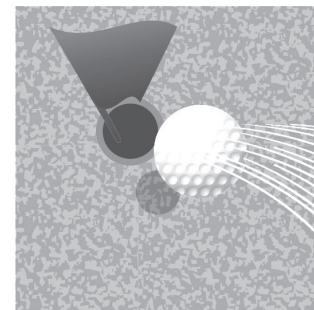
9月30日、一人の外国選手の打った一打目が、ダイレクトにカップに吸い込まれました。ボールは

広告

「カップの内側の壁」に食い込んで止まり、ボールの上部がカップより



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「カップに飛び込むぞ!」

少し上に顔を出していました。通常ルールは一部でもカップに沈んでいれば、ホールインです。ところがこのケースでは100%沈んでいないから、処置は壁の中にできた凹みを平らに補修して、そこに置き直して、ボールが止まらなければ(止まるわけ無い!)カップの外に置いて、「2打目」を打ちなさいという不可解なルールでした。

(PGAティーチングプロA級)

毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除きます。

サーブス DAY

個人レッスン・各種ゴルフ教室

西の森ゴルフパーク 宇都宮市 駒生町1780-1

西の森ゴルフ 検索 ☎028-652-3344

随時受付中!!

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に
毎月最終金曜日に掲載されています。